

令和5年度

学校要覧



兵庫県立姫路南高等学校



- 時習窮理**……くり返し学んで学問の真理をきわめるよう心がける。
- 自主特立**……自分の力で生きていけるよう目標を定めて努力する。
- 信義執禮**……真心を込めて事にあたり学生としての礼儀秩序を守る。



校章の由来

昭和25年、全校生と教職員から校章の図案を募集した結果、生徒の図案を採用したものである。

Vは白鷺の羽ばたきとVictoryを組み合わせ、大空に向かって躍進する県立姫路南高等学校を表現したものである。

兵庫県立姫路南高等学校校歌

心をこめて ♩ = 100 ぐらい

富田 碎花 作詞
信時 潔 作曲

す み は れ て さ や る かげ な し し
 ら さ ぎ の は ば た き つ よ く か
 け ー り と ぶ つ ば さ に の り て は
 こ ぼ る る あ お ぐ も の は て い
 さ ぎ よ き が く ふ う か お る た
 か ら ー か に う た い た た え ん お
 お ひ め じ み な み 高 校

県立姫路南高等学校 校歌

一、澄み晴れてさやるかげなし

白鷺の羽ばたきつよく

かけり飛ぶつばさにのりて

はこぼるる青雲のはて

いさぎよき学風かおる

高らかにうたいたたえん

おお 姫路南高校

二、夢前や 室の古道

網干瀧 大津茂 揖保よ

朝日山 廣畑かけて

海光に京見はことう

わかき日の感激こめて

ほがらかにうたいたたえん

おお 姫路南高校

三、たまきわるいのちのかぎり

春秋のうつろいよそに

いばら生つきびしきみちも

窓の雪 螢の光

きょうとという世代に生きて

ほこりにうたいたたえん

おお 姫路南高校

目 次

沿 革	1
学校環境	3
学校経営	4
教 職 員	
1 現 員	10
2 教職員一覧表	11
3 校 務 分 掌	13
(1) 各部組織表	13
(2) 各種委員会	14
(3) 教科主任	14
(4) 部活動顧問	15
教科指導及び生徒指導	
1 教育課程表	16
2 学校行事計画	19
3 校 時 表	19
4 図書館概要	20
防 災	
1 防災管理組織と任務	21
2 防災年間計画	21
3 自衛消防組織表	22
4 点検検査組織	22
5 学校内災害・事故発生時の救急医療体制	24
生 徒	
1 生徒在籍数	25
2 出身中学校	26
3 通学方法	27
4 生徒会組織図	27
5 部活動在籍人数	28
卒 業 生	
1 卒業生数	29
2 令和4年度進路状況	30
校舎配置図	33

沿 革

- 大正14年4月1日 姫路市立商業補習学校として開校
- 昭和4年4月1日 姫路市立実務専修学校と校名変更
- 昭和9年4月1日 姫路市立家政女学校と校名変更
- 昭和15年4月5日 姫路市立高等家政女学校と校名変更
- 昭和19年4月1日 姫路市立女子商業学校と校名変更
- 昭和20年7月3日 戦災により校舎全焼
- 昭和21年4月1日 姫路市立第二高等女学校と校名変更
- 昭和23年4月1日 学校教育法（抄）により姫路市立桜門高等学校と校名変更
安田武初代校長に補せられる
- 昭和24年4月1日 学区制実施により姫路市立桜門高等学校に一年生入学
- 昭和25年2月26日 現在地に移転
- 昭和25年4月1日 姫路市立南高等学校と校名変更 校章、校訓制定
- 昭和26年9月1日 県営移管兵庫県立姫路南高等学校と校名変更
- 昭和26年10月6日 県営移管式挙行、創立記念日制定
- 昭和29年4月1日 井内喜久次 県立香住高等学校長から第2代校長に補せられる
- 昭和30年1月10日 校歌制定
- 昭和31年4月1日 女子制服制定
- 昭和33年4月1日 前田正雄 県立神戸聾学校長から第3代校長に補せられる
- 昭和33年8月8日 第40回全国高等学校野球選手権大会に兵庫県代表として出場
- 昭和34年8月31日 校地区画整備ならびに運動場整地完了
- 昭和36年4月1日 名村正義 県立津名高等学校長から第4代校長に補せられる
- 昭和39年3月31日 教室棟（東）新築工事竣工
- 昭和39年4月1日 北村即源 尼崎市立城内高等学校長から第5代校長に補せられる
- 昭和42年4月1日 沓掛紀一 県立佐用高等学校長から第6代校長に補せられる
- 昭和43年1月16日 校地3,919㎡、育友会より寄贈
- 昭和43年3月10日 体育館兼講堂工事竣工
- 昭和46年2月23日 生徒部室新築工事竣工
- 昭和47年3月25日 格技場新築工事竣工
- 昭和47年4月1日 森川進 明石市教育委員会から第7代校長に補せられる
- 昭和49年1月27日 特別教室棟新築工事竣工
- 昭和50年12月5日 教室棟（西）新築工事竣工
- 昭和51年4月1日 長谷川義文 県立西脇北高等学校長から第8代校長に補せられる
- 昭和52年9月5日 管理棟新築工事竣工
- 昭和53年8月30日 管理棟および昇降口新築工事竣工
- 昭和54年4月1日 前田昇 県立東神戸高等学校長から第9代校長に補せられる
- 昭和54年8月30日 体育倉庫新築工事竣工

昭和55年 3月31日 生徒集会所新築工事竣工
昭和56年 3月20日 渡り廊下工事竣工
昭和57年 2月22日 校旗新調
昭和57年 4月 1日 東清次 兵庫県教育委員会事務局から第10代校長に補せられる
昭和59年10月 6日 35周年記念式典挙行
昭和60年 4月 1日 野間昇 県立尼崎西高等学校長から第11代校長に補せられる
昭和60年12月 6日 生徒部室（西）新築工事竣工
昭和63年 3月31日 校舎等増築・設備棟新築工事竣工
昭和63年 4月 1日 岸本浩治 県立播磨南高等学校長から第12代校長に補せられる
昭和63年11月17日 文部省から保健体育の指導研究に功績とくに顕著につき表彰される
平成元年 7月 6日 築庭（中庭西）同窓会より寄贈
平成元年10月 1日 アメリカワシントン州ヴァッシュンアイランド高校と姉妹校提携
平成 2年 2月28日 「ユーカー賞」制定
平成 2年 3月 5日 中庭記念碑及び正面前築庭同窓会より寄贈
平成 2年 4月 1日 苅尾七彦 兵庫県教育委員会事務局から第13代校長に補せられる
平成 4年 2月15日 弓道場新築工事竣工
平成 5年 4月 1日 田中利長 県立長田商業高等学校長から第14代校長に補せられる
平成 7年 3月30日 プール建設工事竣工
平成 7年 4月 1日 大久保正和 県立夢前高等学校長から第15代校長に補せられる
平成 9年 4月 1日 荒瀧紀 県立相生産業高等学校長から第16代校長に補せられる
平成10年 8月 9日 中国酒鋼三中と姉妹校提携
平成11年10月 2日 50周年記念式典挙行
平成12年 4月 1日 松井邦夫 県立姫路産業技術高等学校長から第17代校長に補せられる
平成14年 4月 1日 中杉隆夫 県立香寺高等学校長から第18代校長に補せられる
平成15年 4月 1日 佐伯道雄 県立西脇高等学校長から第19代校長に補せられる
平成18年 3月27日 耐震補強工事竣工
平成18年 4月 1日 高下伸敏 県立高砂高等学校長から第20代校長に補せられる
平成21年 4月 1日 岩崎文治 県立加古川南高等学校長から第21代校長に補せられる
平成23年 3月28日 エレベーター棟竣工
平成23年 4月 1日 片山俊行 播磨西教育事務所長から第22代校長に補せられる
平成25年 4月 1日 佐見津和彦 県立赤穂高等学校長から第23代校長に補せられる
平成27年 4月 1日 吉田哲 県立香寺高等学校長から第24代校長に補せられる
平成29年 4月 1日 赤藤千鶴 県立伊和高等学校長から第25代校長に補せられる
令和 3年 4月 1日 駒田勝 兵庫県教育委員会事務局人権教育課長から第26代校長に補せられる
令和 4年 3月17日 「県立高等学校教育改革第3次実施計画」を県教育委員会が公表
令和 4年 7月14日 本校と県立網干高等学校、県立家島高等学校の「発展的統合」を行うことを県教育委員会が公表
令和 4年11月17日 「発展的統合」による新設校の想定設置場所が本校に決定

学 校 環 境

1 所在地 兵庫県姫路市大津区天満191番地 5 電話 (079) 236 - 1835
(山陽電車網干線天満駅下車北西1,200m、JR山陽本線はりま勝原駅下車南西1,500m)

2 校 地 総 面 積 41,627.00㎡
校 舎 敷 地 21,627.00㎡
運 動 場 20,000.00㎡

3 校 舎 建 面 積 5,386.38㎡
延 面 積 13,737.42㎡

校 舎 内 訳

建 物 名 称	建面積 m ²	延面積 m ²	建築年月
教 室 棟 (東)	454.73	1397.85	昭39. 3
教 室 棟 (西)	610.59	2442.36	50. 12
特 別 教 室 棟	576.00	2499.48	49. 1
管 理 棟	921.60	3764.52	52. 8
体 育 館 兼 講 堂	1305.00	1538.80	43. 3
格 技 場	402.00	402.00	47. 3
生 徒 部 室 (東)	49.13	98.26	46. 2
プ ー ル 附 属 棟	88.20	88.20	平 7. 3
生徒昇降口及渡廊下	297.12	737.76	昭53. 8
生 徒 集 会 所	310.20	310.20	55. 3
体 育 倉 庫	58.11	58.11	54. 8
渡 り 廊 下	92.73	92.73	56. 3
生 徒 部 室 (西)	62.00	117.31	60. 12
受 水 槽 ポ ン プ 室	77.98	77.98	63. 3
弓 道 場 (射 場)	56.81	56.81	平 4. 2
危 険 物 収 納 庫	4.00	4.00	12. 3
屋 外 便 所	9.89	9.89	18. 3
エ レ ベ ー タ ー 棟	10.29	41.16	23. 3

学校経営

1 学校経営の重点

(1) 基本方針

- ア 「時習窮理」「自主特立」「信義執禮」の校訓のもと、文武両道を体現することで考える力を高め、身体や感性を大切にしながら意欲的によりよい社会の創り手となる人間を育成する。
- イ 人権尊重・個性尊重を基礎として、学校・家庭・地域の連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。
- ウ 学校・家庭・地域との信頼構築のため、学校教育の成果・取組の情報発信を円滑に積極的に行い開かれた学校づくりを推進する。情報発信は総務部及び図書・情報推進部が中心となっていく。

(2) 教育目標

- ア 未来への道を切り拓く力を育み、こころ豊かで自立する人づくりの推進
 - (ア) 知・徳・体の調和がとれた人間の育成をめざす。
 - (イ) 命を大切に作る心や思いやりの心を養い、基本的な倫理観や規範意識を涵養する。
- イ 学力の向上と個性や創造性の伸長
 - (ア) 確かな学力を育むとともに、主体的に学ぶ態度を育成する。
 - (イ) 生徒の能力・適性に応じたきめ細かな指導をし、創造性を伸長する。
- ウ 地域に信頼される学校づくり
 - (ア) 安心して学べる環境づくりを推進する。
 - (イ) 家庭や地域社会との連携を深め、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進するとともに、学校の情報発信に努める。

(3) 重点目標

- ア 「G I G Aスクール構想」に対応した教育活動の実践
 - 平成30年度から始まった「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」により、校内LANの整備が完了。また、1・2年生はBYODにより1人1台のタブレットを持ち込み、学習活動に臨むこととなる。一層進展する高度情報化社会に対応する人材育成のため、本校では次の3点を重点目標として掲げる。
 - (ア) ICTを適切に活用した学習活動の充実
 - i これまでの本校での教育実践とICTの特性を生かした、双方のベストミックスを図ることにより、生徒の力を最大限に引き出せるよう、学びの深化と学びの転換を図る。
 - ii 生徒がICTを学習や情報収集等の手段として日常的に活用できるよう、G I G Aスクール構想等により整備されたICT環境を用いて、生徒の主体的に学習する態度の育成と、「確かな学力」の確立に向けた学習活動の充実及び学習管理の効率化を図る。
 - (イ) ICTの特性を生かした学びの推進及び教員のICT活用指導力の向上
 - 空間的・時間的制約を緩和するICTの特性を生かした学びの充実を図る。特に近年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校の教育活動そのものが危うい状況に陥る懸念があった。そのような不測の事態に対応するための「オンライン学習」や「eラーニング」の活用を視野に入れ、いつでも効果的に対応できるよう普段から教員がICT活用指導力向上を目指し、校内研修を図書・情報推進部主導により計画的に実施する。
 - (ウ) ネットトラブル未然防止の取り組みの推進
 - i ネットの危険性についての理解促進

インターネット上で起きている事案への正しい知識や、ネットトラブル発生時の対処・対応に関する理解を深めるため、関係機関及び校内生徒指導部と図書・情報推進部との定期的な情報交換を行い、連携体制を整える。

ii 家庭との連携

ネット依存やネットトラブル等に関する新しい情報を家庭へ発信し、情報共有を図る。また、家庭や関係機関と連携し、フィルタリングの推奨や県警が主催するサイバー犯罪被害防止教室の活用等を勧める。

iii 自主的・主体的な取組の促進

インターネットの過度な利用による生活習慣や健康への影響について、生徒が自主的に考え判断する学習活動を充実する。また、生徒指導部と図書・情報推進部が連携し、スマートフォンやSNS等を利用する際の学校や家庭でのルールづくりや見直しを検討する。

イ 生徒の生活実態や学習状況を把握し、生徒の能力・適性や学習ニーズ、進路希望に応じた学習内容を充実させて学習意欲の高揚を図り、「魅力ある授業」「わかる授業」「考える授業」を実践する。

ウ キャリア形成の支援に向けた教育活動の充実、進路実現のための指導体制の確立

(ア) 生涯を見据えて、学力の向上、コミュニケーション能力や課題対応能力の育成を図り、社会的自立に向けたキャリア形成の支援に努める。

(イ) 個に応じたガイダンス機能、進路選択にかかる情報提供の充実を図る。

エ 教職員としての資質と実践的指導力の向上

(ア) 新教育課程に対応した教科指導の校内研修を充実させ、教職員の意識の改革と教育の専門家として期待される資質と実践的指導力の向上を図る。

(イ) 教員のICTリテラシーの向上に向けての研修機会を充実させ、環境の有効活用に努める。

オ 部活動の活性化と特別活動の充実

(ア) 安全の確保に努めながら生徒の自発的な活動を促し、個性の伸長を図り、社会性、創造・信頼の心を育てる。

(イ) いきいき運動部活動（4訂版）にもとづき適切な休養日等を設定し、学習活動とのバランスをとりながら文武両道の実現を図る。

カ 生徒の内面に対する共感的理解に基づくこころの教育の推進

生徒一人一人と向き合い、様々な体験学習、部活動を通して、命の大切さを実感させ、奉仕の心や思いやりの心を育て、「いじめを許さない」こころ豊かで自立した人づくりを推進する。

キ 地域の伝統校として地域への貢献、地域への広報の充実

(ア) 全ての教育活動において、家庭や地域との連携を密にして、教育効果を上げる。

(イ) 教育活動について、様々な機会を捉えて学校外に情報発信し、取組を広報する。

ク 危機管理体制と防災教育の充実

(ア) 生徒の安全を確保するため、緊急時に教職員が適切な指示・指導ができるよう訓練し、教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上に努める。

(イ) 災害に対する正しい知識や技能を身に付け、ボランティア精神等「共生の心」を育む。

ケ 国際社会に生きる自覚と多様な文化を尊重できる態度や資質を育成する教育の推進

(ア) グローバル化が進む社会において生徒が活躍できるよう、豊かな国際性と共生の心を育むと共に、英語の実践的な運用能力の育成を図る。

(イ) 姉妹校提携校等との交流を積極的に進め、英語等によるコミュニケーション能力や国際社会に貢献する態度を育成する。

コ 図書室の充実及び活性化

- (ア) 学校図書運営委員会を中心に図書室の蔵書の充実を目指し、生徒の読書への興味・関心の向上を目指す。
- (イ) 読書のみならず学習のための資料としての蔵書の充実を図り、進路指導部及び学年団と連携し、生徒の進路確保を目指す。
- (ウ) 「図書室だより」を生徒の読書欲の向上を図れるように刷新する。

2 教科指導及び生徒指導（特別教育活動を含む）の重点

(1) 教科指導

ア 基本方針

生徒の学習の実態を的確に把握し、主体的・対話的で深い学びの視点から指導方法の工夫・改善に取り組み、教科指導力を高める。

イ 教育課程の編成と運営

- (ア) 生徒の個性や学習の進度を的確に把握し、学習内容の精選や課題の設定を考慮した指導の徹底を図る。
- (イ) 3年間を見通して、教科・学年間の関連を踏まえた指導計画を作成し、系統的・発展的に指導する。
- (ウ) 各教科の授業時間数を確保し、学校行事等の教育的意義を明確にして教育効果を高める工夫を行う。

ウ 学習指導

- (ア) 「文科省研究指定事業」を通じて明らかとなった本校生徒に習得させたい学力、必要な情報を引き出す力、意見と事実を整理する力、文章の論旨を理解し要約する力、多角的に諸事象を捉える力、情報を整理し、正確に伝える力、等の確実な定着を目指し、公開授業や研究授業を昨年度よりも積極的にを行うとともに生徒による授業評価を実施する。教科の枠を超えて研究協議を進め、教職員相互の切磋琢磨によって指導力の充実と指導体制の効率化に努める。
- (イ) 基礎的・基本的事項の定着を図り、各教科等における言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。
- (ウ) 生徒の生活実態、学習状況等を把握し、主体的に学習する態度と家庭での学習習慣を確立させる。また、少人数指導や習熟度別学習により興味・関心を大切にした授業に取り組む。
- (エ) 基礎学力の着実な定着に取り組む指導体制を確立し、学力定着度を測ることのできる定期考査や確認テストの作成とともに新たな教材開発、授業改善に努める。
- (オ) 総合的な探究検討委員会を設置し、「総合的な探究の時間」の企画検討を行い、生徒の達成感・自己有用感の高揚を目指した実施内容の策定を円滑に行う。また、新入生の「総合的な探究の時間」については、「県立姫路南高等学校運営協議会」や地域諸機関等と連携し、地域に関するテーマで企画・実施する。

(2) 生徒指導

ア 基本方針

- (ア) 生徒の人格を尊重し、基本的な生活習慣と自主・自立的態度を育成すると共に、規範意識の高揚を図る。
- (イ) 自己指導能力を育み、思いやりの心を育てる。

イ 指導内容

- (ア) 全ての教育活動を通して、自己実現を図るための自己指導能力の育成を目指す。
- (イ) 生徒一人一人の個性を理解し、個性の伸長を図りながら、自己認識や自尊感情を高め、社会の進歩や発展に寄与できる行動や資質を身に付けさせる。

ウ 本年度の重点項目

- (ア) 明るく元気な挨拶の励行、適正な身だしなみ等、様々な生活場面で自立心や自律性を育成するとともに、地域から愛される学校づくりを目指す。
- (イ) 本校いじめ基本方針にもとづき、「いじめ対応チーム」を核に据え、全教職員の共通理解のもと、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、解消に向けた実効性の高い取組を推進する。同チームの活動を保護者に報告し、学校と家庭の連携を深める。

(3) 特別活動

ア 基本方針

望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としての自主的・実践的な態度を育て、人間としての「在り方」や「生き方」についての自覚を深めさせ、自己を生かす態度を育成する。

イ ホームルーム活動

- (ア) 集団の中で、人間として望ましい「在り方」や「生き方」を自覚させる。
- (イ) 生徒相互の信頼感と連帯意識を高め、学級生活向上のために協力する自発的、自治的な活動を行う。

ウ 部活動

- (ア) 安全な活動の場を設定するとともに生徒の興味・関心、能力・適性などを理解し、伸長させる。望ましい集団活動を通して、良好な人間関係を育てる。
- (イ) 部活動の活性化を図り、生徒の能力・責任感・協調性・忍耐力を高める。
- (ウ) 生徒の自主性を尊重しつつ、心身の健康増進を下支えするための適切な休養日設定を行う等、合理的かつ効果的な活動計画にもとづく活動を推進し、勉学との両立を図る。

エ 生徒会活動

- (ア) 各種委員会の活動を通して学校生活の改善や向上を図る。
- (イ) 生徒会活動の活性化を図り、生徒の学校行事への積極的な協力、参加を促す。
- (ウ) 学校行事の自主的な活動の促進を図り、教育的効果を高める。

(4) 進路指導

ア 基本方針

生徒一人一人の個性の伸長に努め、各自が主体的に将来の進路を展望できる能力を育成する。

イ 指導内容

- (ア) 進路指導を人間としての在り方・生き方についての指導と位置づけ、学校教育活動全体を通して、組織的・計画的に実施する。
- (イ) 的確な情報の収集と提供に努め、生徒の能力・適性に合った進路指導を推進する。
- (ウ) 進路意識を高める中で、望ましい勤労観・職業観の育成に努める。
- (エ) 進路指導についての研修を積極的に行い、生徒の個性に応じた指導の充実に努める。
- (オ) 進路指導部と学年団が連携し、より効果的な補習を展開し、生徒の学力向上を果たし、生徒や保護者のニーズに応える進路保障を目指す。

(5) 人権教育

ア 基本方針

多文化共生及び人権尊重の理念に対する理解を深め、生命の尊厳を基盤に、自他に対する肯定

的な態度と共生社会の実現に向け、主体的に取り組む実践力を育成する。

イ 指導内容

- (ア) 差別を解消するねらいを明確にし、教育活動全体で計画的に指導する。
- (イ) 国際社会において、互いの違いを違いと認め合い、多様な文化的背景をもつ人々と共生しようとする心を育み、共に生きようとする意欲や態度の育成を図る。
- (ウ) 人権尊重に対する認識をさらに深化させ、自らの生き方を考え、自己の研鑽を図るよう指導する。
- (エ) 保護者や地域社会と連携し、講演会等を通して人権教育に主体的に取り組む意欲や態度を育む。
- (オ) 国家、民族、宗教、イデオロギー等の違いによる分断が起こす紛争について考察し、命の尊さや紛争下における人権を無視した行為を認めない信念を育む。

3 健康管理に関する指導の重点

(1) 健康教育の充実

- ア 定期健康診断や日常の健康観察・健康相談を通して生徒の健康状態を把握するとともに、診断結果の事後措置を徹底し、早期の予防治療に努める。
- イ 青年期における心身の健康に留意し、教育相談を充実する。専門医やキャンパス・カウンセラーとの連携を図り、心の健康保持と増進に取り組む。
- ウ 心身の健康を保持・増進するために必要な正しい知識や情報を提供し、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。

(2) 安全教育の徹底

- ア 緊急時において生徒に対する適切な指示や指導ができるよう「災害・事故発生時の救急医療体制」についての共通理解を図るとともに、心肺蘇生法等の救急救命措置の知識や技術を身に付けるなど、教職員自らの防災リテラシーや応急処置能力の向上を図る。
- イ 施設・設備の安全点検を定期的を実施する。
- ウ 体育活動や理科の実験における安全教育の徹底を図る。
- エ 「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」の「学校安全三領域」における学校安全教育の徹底を図る。

4 本年度の研究テーマ

- (1) 新教育課程に対応した授業実践のための研究授業の実施。
- (2) 自己実現を目指したキャリア教育の在り方と進路指導体制の充実
- (3) 学則等の改訂による、安心して学べる環境づくりと信頼される学校づくり
- (4) 教育相談活動と特別支援教育の充実
- (5) 衛生委員会を昨年同様定期的を開催し、働きやすい職場を目指した環境整備の充実
- (6) 円滑な校務運営モデル構築により（ひめ南協力モデル：専門部と学年団の協力体制）働きやすい職場をつくり及び業務改善を目指す。

5 高校生ふるさと貢献活動・活性化推進事業で実施する内容

(1) クリーンアップ作戦（校外清掃活動）

駅からの通学路・学校周辺等を中心に清掃活動を実施し、地域への貢献を図るとともに公共心を培う。

- (2) 交通安全啓発運動
交通安全マスコットを作成し、網干警察署（交通安全協会）と連携して、商業施設等で配布する。
- (3) コーラス部及び吹奏楽部による地域交流発表会
ア それぞれの部で定期演奏会を行い、日頃の活動成果の地域との共有
イ 地域の中学校と地域のコーラス隊との交流による合同コンサート（コーラス部）
- (4) コーラス部及び箏曲部による地域交流コンサート
地域開催イベントへの参加による音楽を通じた地域交流
- (5) コーラス部及び箏曲部による訪問演奏会
近隣の病院及び高齢者施設、障害福祉施設における演奏を通じた交流及び文化活動の発信
- (6) 野球部及びソフトテニス部による異世代交流
地域小学生及び中学生への技術指導のための研修会の実施

6 高校生就業体験事業～インターンシップ推進事業～において実施する内容及び高校生キャリアノートの活用に関する内容

学校生活を通して「自分の適性」「学びたい・行きたい学校」「生きがいを感じる職業」等を真剣に考える機会を持つことで学ぶ意味や正しい職業観を培う。

- (1) 進路講演会（各学年単位で全学年実施）
- (2) 職業人講話（第1学年）
- (3) 公務員ガイダンス（第2学年）
- (4) ふれあい看護体験・育児体験（全学年の希望者）
- (5) 県関係機関における県庁インターンシップ（全学年の希望者）
- (6) 大学出前講義・大学説明会・大学訪問（全学年の希望者）
- (7) 系統別大学模擬授業（第1・2学年）
- (8) キャリアノートを用いたキャリアプランニング（総合的な探究の時間）

7 県立高校魅力アップ推進事業～インスパイア・ハイスクール～で実施する内容

- (1) 高大連携・高社連携による大学・研究施設・工場訪問及び模擬授業体験
- (2) 企業研究者講演会
- (3) 科学実験工作教室、算数教室等の実施（生徒会活動や総合的な探究の時間・教科）の有効活用

教 職 員

1 現 員

(令和5年5月1日現在)

区 分	本 務 職 員											非 常 勤 職 員							A L T	合 計						
	校 長	教 頭	事 務 長	主 幹 教 諭	教 諭	臨 時 講 師	養 護 教 諭	実 習 助 手	事 務 員	事 務 員	計	学 校 医 等					計	時 間 講 師			生 花 ・ 茶 作 法	業 務 支 援 員	就 学 支 援 金 事 務 補 助 員			
												内 科 兼 学 校 産 業 医	眼 科 医	耳 鼻 科 医	歯 科 医	薬 劑 師										
現 員	男	1	1		1	19	2			1	2	27	1	1		1		3	7							37
	女			1		12	2	1	1	3		20			1		1	2	5	2	1	1	1	1	1	32
	計	1	1	1	1	31	4	1	1	4	2	47	1	1	1	1	1	5	週8 時間 12人	2	1	1	1	1	1	69

臨時講師は臨時教諭を含む

2 教職員一覧表

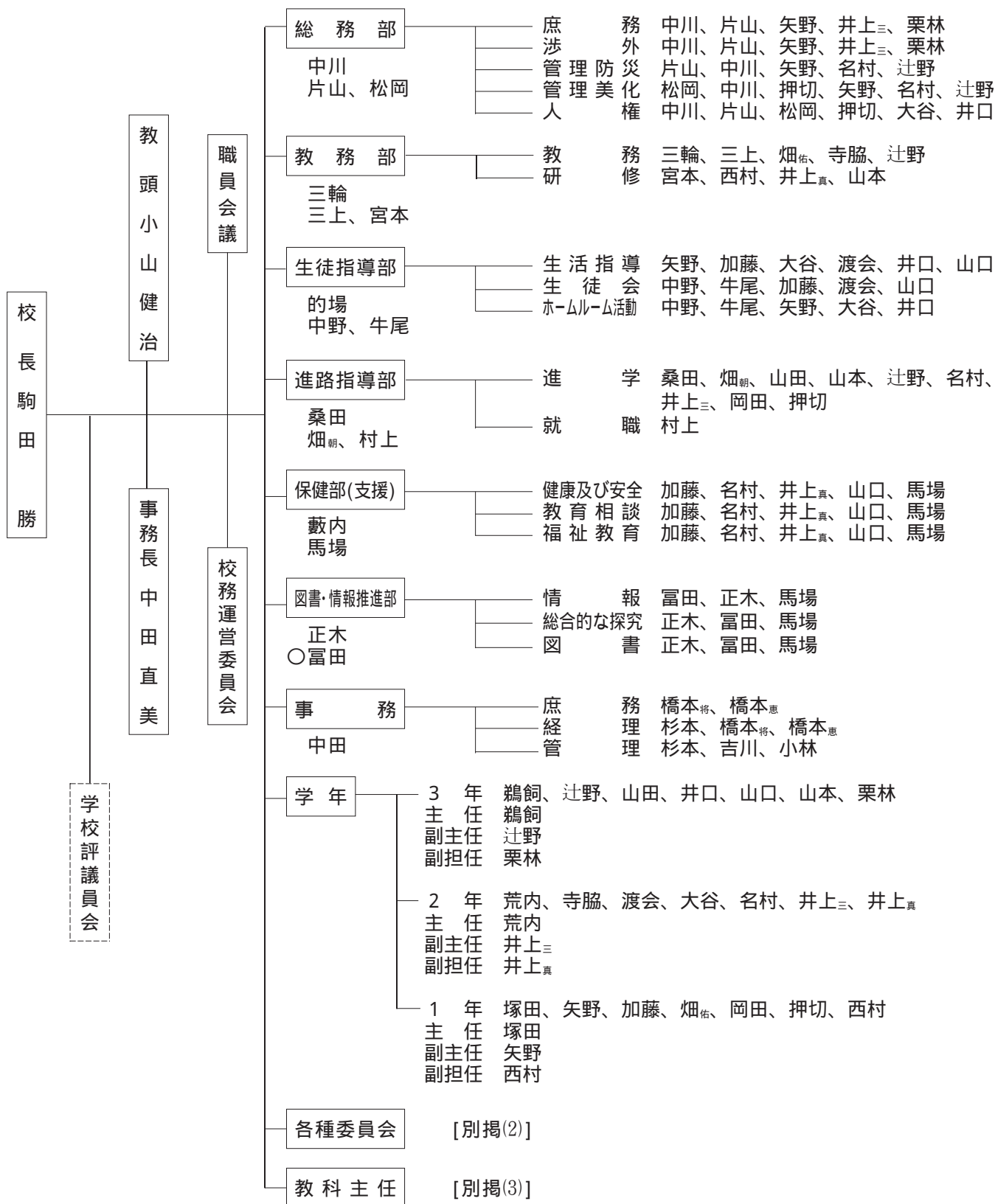
教科等	職名	氏名	校務分掌	部活動顧問
	校長	駒田 勝		
	教頭	小山 健治		
	事務長	中田 直美		
国語	教諭	井口 加奈子	3 - 3 担任	吹奏楽
	"	鷓飼 由美子	3 学年主任	演劇 放送 男子バドミントン
	"	大谷 睦美	2 - 3 担任	女子バスケットボール
	"	岡田 明美	1 - 4 担任	バトン バレーボール
	"	中野 聖	生徒指導部副部長	野球
	臨時講師	井上 真梨奈	2 学年副担任	書道 女子バドミントン
地歴・公民	主幹教諭	桑田 卓郎	進路指導部長	弓道
	教諭	片山 一男	総務部副部長	ソフトボール
	"	宮本 陽平	教務部	男子バスケットボール
	"	牧角 裕紀子		
	臨時教諭	押切 孝雄	1 - 5 担任	剣道 バトン
	臨時講師	西村 直也	1 学年副担任	サッカー 放送
数学	教諭	荒内 秀明	2 学年主任	陸上競技
	"	辻野 友貴	3 - 1 担任・3 学年副主任	空手道
	"	寺脇 響彦	2 - 1 担任	サッカー
	"	松岡 健治	総務部	演劇 陸上競技
	"	矢野 秀成	1 - 1 担任・1 学年副主任	ソフトボール
学	"	山田 俊樹	3 - 2 担任	女子バスケットボール 美術
	教諭	富田 晋平	図書・情報推進部副部長	科学 男子ソフトテニス
	"	畑 佑樹	1 - 3 担任	男子バドミントン 科学
	"	正木 真奈美	図書・情報推進部部長	茶華道 空手道 剣道 箏曲
	"	三輪 幸祐	教務部長	男子バスケットボール
保健体育	"	山本 裕史	3 - 5 担任	男子ソフトテニス
	教諭	塚田 喜教	1 学年主任	バレーボール
	"	的場 慎	生徒指導部部長	野球
	"	山口 貴弘	3 - 4 担任	陸上競技
芸術	"	渡会 雄士	2 - 2 担任	野球
	教諭	中川 明彦	総務部部長	コーラス
英語	教諭	井上 三帆	2 - 5 担任・2 学年副主任	弓道 箏曲
	"	牛尾 英子	生徒指導部	書道
	"	加藤 愛子	1 - 2 担任	美術
	"	名村 香織	2 - 4 担任	箏曲
	"	畑 朝子	進路指導部副部長	女子バドミントン クッキング
	"	村上 尚之	進路指導部	女子ソフトテニス バレーボール
	臨時講師	栗林 常子	3 学年副担任	コーラス 女子ソフトテニス
A L T	Creel Katrina			
家庭	教諭	三上 知美	教務副部長	クッキング 弓道
養護	養護教諭	藪内 知実	保健部長 特別支援教育コーディネーター	茶華道 吹奏楽
実習助手	臨時実習助手	馬場 裕子	図書 保健	放送 吹奏楽

教科等	職名	氏名	校務分掌	部活動顧問
事務職員等	主査	杉本里佳	經理 管理	
	事務職員	河原沙織		
	"	橋本将志	庶務 經理	
	臨時事務職員	橋本恵子	庶務 經理	
	技能主任	吉川利也	管理 営繕	
	技能主事	小林賢治	管理 営繕	
	就学支援金事務補助員	前田由香		
	学校業務支援員	古淵彩乃		
非常勤講師	時間講師	荒柴博一	理科 情報	
	"	伊垣重彰	英語	
	"	石原清光	地歴・公民	
	"	宇治弘策	地歴・公民	
	"	江見信彦	地歴・公民	
	"	岡本裕子	英語	
	"	鎌田隼輔	理科	
	"	黒田恵	芸術 (音楽)	
	"	後藤由季	芸術 (美術)	
	"	清水雅	国語 芸術 (書道)	
	"	本田由美子	情報	
	"	弓削更紗	保健体育	
	特別非常勤講師	木下麻由加	芸術 (音楽)	
	"	坂元美子	保健体育	
	"	田中美鈴	芸術 (音楽)	
	"	三浦瑞穂	保健体育	
	生花	嶋澤貴子	華道	
	茶作法	田中洋子	茶道	
学校医等	内科医	須山諭	学校産業医	
	眼科医	知原秀樹		
	耳鼻科医	中山正子		
	歯科医	佐多勉		
	薬剤師	圓尾美佳		

3 校務分掌

(1) 各部組織表

(印 - 部長、 印 - 副部長)



ひめ南協力モデル：以下の組織は、日常的な協力体制を構築し、お互いの校務の円滑な運用を目指します。
 「1学年」 + 「図書・情報推進部」 「2学年」 + 「総務部」 「3学年」 + 「進路指導部」

(2) 各種委員会

委員会名	委員長	委員
校務運営委員会	校長	事務長・中川・三輪・的場・桑田・正木・藪内・塚田・荒内・鶴飼
教育課程委員会	三輪	三上・宮本・桑田・塚田・荒内・鶴飼・松岡・畑祐・的場・中川・村上・富田・正木
特別生徒指導委員会	的場	中野・塚田・荒内・鶴飼・当該教員
進路指導委員会	桑田	畑朝・村上・岡田・押切・井上三・名村・辻野・山田・山本
人権・道徳教育委員会	中川	片山・松岡・押切・大谷・井口・PTA会長
教科書用図書選定委員会	三輪	三上・宮本・塚田・荒内・鶴飼・桑田・松岡・畑祐・的場・中川・村上・富田・PTA会長
学校保健委員会	校長	教頭・事務長・藪内・馬場・中野・的場・矢野・井上三・辻野・校医・薬剤師
衛生委員会	校長	教頭・事務長・藪内・三上・村上・松岡・学校産業医
国際理解教育委員会	村上	事務長・三輪・的場・桑田・加藤・名村・栗林
特別支援教育委員会	藪内	馬場・塚田・荒内・鶴飼
学校評価委員会	中川	三輪、的場、桑田、正木、藪内、塚田、荒内、鶴飼
魅力アップ推進事業(理数教育)・就業体験	桑田	事務長・片山・畑朝・村上・松岡・寺脇・畑祐・山本
ふるさと貢献	中川	事務長・的場・押切・井上真・井口
特色選抜委員会	校長	教頭・中川・三輪・的場・桑田・正木・藪内・山口・塚田・荒内・鶴飼
文化祭実行委員会	的場	中野・牛尾・中川・松岡・鶴飼・藪内・加藤・大谷・山田
体育大会実行委員会	山口	的場・塚田・渡会・矢野・井上真・栗林
行事検討委員会	教頭	事務長・中川・三輪・的場・桑田・正木・藪内・塚田・荒内・鶴飼
BYOD検討委員会	教頭	事務長・富田・中川・三輪・的場・桑田・正木・藪内・塚田・荒内・鶴飼
情報セキュリティシステム委員会	富田	事務長・正木・馬場・畑祐・西村・寺脇・井上真・辻野・山本・宮本
学校図書運営委員会	正木	富田・馬場・塚田・荒内・鶴飼
総合的な探究検討委員会	正木	富田・馬場・片山・三輪・的場・桑田・岡田・荒内・鶴飼
地域交流委員会	片山	牛尾・西村・井上真・栗林

教頭は原則として、全ての委員会に加わる。

いじめ対応チーム	校長・教頭・生徒指導部長・生徒指導副部長・学年生徒指導担当・養護教諭・当該教員・キャンパスカウンセラー等
----------	--

(3) 教科主任

教科主任	国語	地公	数学	理科	保体	芸術	家庭	英語	情報
	鶴飼	桑田	松岡	畑祐	的場	中川	三上	村上	富田

(4) 部活動顧問

文 化 部 顧 問				運 動 部 顧 問			
1	コ ー ラ ス	中川 栗林		1	弓 道	桑田 三上 井上 _三	
2	吹 奏 楽	井口 馬場 藪内		2	剣 道	押切	正木
3	箏 曲	名村	井上 _三	3	空 手	辻野	
4	茶 華 道	正木	藪内	4	サ ッ カ ー	寺脇 西村	
5	演 劇	松岡	鵜飼	5	ソフトテニス(男)	山本	富田
6	放 送	馬場	西村		ソフトテニス(女)	村上	栗林
7	美 術	加藤	山田	6	ソ フ ト ボ ー ル	矢野 片山 (牛尾)	
8	書 道	井上 _真	牛尾	7	野 球	的場 中野 渡会	
9	ク ッ キ ン グ	三上 畑 _朝		8	バスケットボール(男)	宮本	三輪
10	バ ト ン	岡田 押切			バスケットボール(女)	大谷	山田
11	科 学	富田 畑 _佑 (三輪)		9	バドミントン(男)	畑 _佑	井上 _真
				バドミントン(女)	畑 _朝	鵜飼	
10	バレーボール(男)		塚田 岡田 村上				
							バレーボール(女)
11	陸 上 競 技		山口 荒内 松岡				

教科指導及び生徒指導

1 教育課程表

令和5年度入学生徒

教科 科目	標準 単位 数	5 学級										又系に重点をおく類型3学級										理系に重点を置く類型2学級										備 考
		第1学年		第2学年			第3学年				単 位 数	計	第2学年		第3学年			単 位 数	計													
		必修	選択 (芸術)	文科類型		音楽・スポーツ類型		文科Ⅰ類型		文科Ⅱ類型			必修	選択 (特等)	理科類型		選択 (特等)			選択 (特等)												
				必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修					選択	必修					選択	必修	選択									
29	2	26	3	2	22	3	2	4	28	3	28	3	22	4	3	2																
国 語	現代の国語	2	2														2	17 ・ 19								2	12 ・ 14	*第3学年理科類型の 数学研究選択者は、 数学研究3単位と国語 研究2単位を履修する。				
	言語文化	2	2																2													
	論理国語	4			2					2									4													
	文学国語	4			2					2									4													
	古典探究	4			2					3									5													
	現代文探究	2																	0-2													
地 理	地理総合	2			2													2	10 ・ 12	2							2	7	*世界史探究、日本史 探究は、第2・3学年の 継続履修とする。 *文科Ⅰ類型の世界 史探究選択者は世界 史探究、日本史探 究選択者は日本史研 究を履修する。			
	地理探究	3																3														
	歴史総合	2	2															2														
	日本史探究	3				3				3								0-6														
	世界史探究	3				3				3								0-6														
	日本史研究	2									2							0-2														
公 民	公共	2	2															2	4								2	2				
	倫理	2						2										2														
数 学	数学Ⅰ	3	3															3	10 ・ 12 ・ 14 ・ 15 ・ 16								3	16 ・ 18	*第3学年文科Ⅱ類型 は、第2学年文科Ⅱ類 型で数学Bを必修とす る。 *第3学年理科類型の 数学選択者は、5単 位を履修する。数学研 究選択者は、数学研 究3単位と国語研究2 単位を履修する。			
	数学Ⅱ	4			3													3														
	数学Ⅲ	3																2														
	数学A	2	2															2														
	数学B	2				2												0-2														
	数学C	2								2	2							0-2														
	数学探究Ⅰ	2						2										0-2														
	数学探究Ⅱ	3									3							0-3														
理 科	物理基礎	2	2															2	9 ・ 10								2	19	*第2学年理科類型 は、化学基礎を1～3 月に、化学を10月～3 月に履修する。 *物理・生物は第2・3 学年の継続履修とす る。			
	物理	4																3														
	化学基礎	2			2													2														
	化学	4																4														
	生物基礎	2	2															2														
	生物	4																4														
	化学研究	2								2								2														
保 健 体 育	体育	7～8	3		2					2								7	9 ・ 11 ・ 13	2							2	9	*音楽・スポーツ類型 のスポーツ専攻は、 アジアカップレニ ングⅠ及びアジアカ ップⅡを履修する ことができる。			
	保健	2	1		1													2														
	フィジカルトレーニングⅠ	2				2												0-2														
芸 術	音楽Ⅰ	2	2															0-2	2 ・ 4								0-2	2	*音楽・スポーツ類 型の音楽専攻は、音 楽探究を履修する ことができる。			
	美術Ⅰ	2			2													0-2														
	書道Ⅰ	2			2													0-2														
	音楽探究	2									2							0-2														
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3															3	17 ・ 19 ・ 21								3	17				
	英語コミュニケーションⅡ	4				4												4														
	英語コミュニケーションⅢ	4						4										4														
	論理・表現Ⅰ	2	2															2														
	論理・表現Ⅱ	2				2												2														
	論理・表現Ⅲ	2					2											2														
	英語探究Ⅰ	2					2											0-2														
家 庭	家庭基礎	2			2													2	2	2							2	2				
	情報Ⅰ	2	2															2														
家 庭	情報Ⅱ	2								2								2	0-2-4								2	2				
	保育基礎	2～6								2								0-2														
体 育	フードデザイン	2～6								2								0-2	0-2								0-2	0-2				
	スポーツⅡ	2～6								2								0-2														
音 楽	演奏研究	2～6								2								0-2	0-2-4								0-2	0-2				
	ソルフェージュ	4～12				2												0-2														
総合的な探究の時間	3～6	1			1					1								3	3	1							1	3	総合的な探究の時間			
各学科に共通する 各教育者自身単位数計	29	2	26	3～5	22		5～9		28	3	77～83	10～16	28	3	22		9	79		14												
主として専門学科において開設 される各教科・科目の単位数計	0	0	0	0～2	0		0～4		0	0	0	0～6	0	0	0		0	0	0													
単位数計	31		31		31		31		31		93		31		31		93															
ホームルーム活動題当たり時 数	1		1		1		1		1		3		1		1		3															
適当な授業単位数	32		32		32		32		32		96		32		32		96															

始業時刻・終業時刻 始業時刻:8時40分 終業時刻:15時05分(ただし、火・木曜日は16時05分)

令和4年度入学生徒

教科目		5学級		文系に重点をおく類型3学級										理系に重点を置く類型2学級						備考							
教科目	標準単位数	第1学年		第2学年					第3学年					第2学年		第3学年					単位数	計					
		必修	選択(芸術)	文科類型		音楽・スポーツ類型			文科I類型		文科II類型			理科類型	単位数	理科類型		単位数	計								
				必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択			必修	選択						必修	選択			
29	2	26	3	2	22	3	2	4	28	3	28	3	22	4	3	2	28	3	22	4	3	2					
国語	現代の国語	2	2																				2	17・19	12・14	*第3学年理科類型の数学研究選択者は、数学研究3単位と国語研究2単位を履修する。	
	言語文化	2	2																				2				
	論理国語	4			2			2				2											4				
	文学国語	4			2			2				2											4				
	古典探究	4			2			3				3											4				
	現代文探究	2																					0+2				
地理	地理総合	2			2																		2	10・12	7	*世界史探究、日本史探究は、第2・3学年の継続履修とする。 *文科I類型の世界史探究選択者は世界史探究を、日本史探究選択者は日本史探究を履修する。	
	地理探究	3																					3				
	歴史総合	2	2																				2				
	日本史探究	3				3			3				3										0+6				
	世界史探究	3				3			3				3										0+6				
	日本史研究	2									2												0+2				
公民	公共	2	2																				2	4	2		
	倫理	2					2					2											2				
数学	数学I	3	3																				3	10・12・14・15・16	16・18	*第3学年文科II類型は、第2学年文科II類型で数学Bを履修とする。 *第3学年理科類型の数学III選択者は、5単位を履修する。数学研究選択者は、数学研究3単位と国語研究2単位を履修する。	
	数学II	4			3																		3				
	数学III	3															3	2					0+5				
	数学A	2	2																				2				
	数学B	2				2																	2				
	数学C	2									2	2											2				
	数学探究I	2					2																0+2				
	数学探究II	3											3										0+3				
	総合数学	2										2											0+2				
理科	物理基礎	2	2																				2	9・10	19	*第2学年理科類型は、化学基礎を4～9月に、化学を10月～3月に履修する。 *物理・生物は第2・3学年の継続履修とする。	
	物理	4																					3				
	化学基礎	2			2																		2				
	化学	4																					2				
	生物基礎	2	2																				2				
	生物	4																					3				
	化学研究	2						2				2											2				
	生物研究I	1			1																		1				
保健体育	体育	7～8	3		2			2				2											7	9・11・13	9	*音楽・スポーツ類型のスポーツ専攻は、フィジカルトレーニングI及びフィジカルトレーニングIIを履修することができる。	
	保健	2	1		1																		2				
	フィジカルトレーニングI	2					2																0+2				
	フィジカルトレーニングII	2									2												0+2				
芸術	音楽I	2			2																		0+2	2・4	2	*音楽・スポーツ類型の音楽専攻は、音楽研究を履修することができる。	
	美術I	2			2																		0+2				
	書道I	2			2																		0+2				
	音楽探究	2									2												0+2				
外国語	英語コミュニケーションI	3	3																				3	17・19・21	17		
	英語コミュニケーションII	4			4																		4				
	英語コミュニケーションIII	4					4					4											4				
	論理・表現I	2	2																				2				
	論理・表現II	2				2																	2				
	論理・表現III	2					2					2											2				
	英語探究I	2					2									2							0+2				
	英語探究II	2										2	2										0+2				
家庭	家庭基礎	2			2																	2	2	2	2		
情報	情報I	2	2																				2	2+4	2		
	情報II	2																					2				
家庭	保育基礎	2～6									2												0+2	0+2+4			
	フードデザイン	2～6									2												0+2				
体育	スポーツII	2～6									2												0+2	0+2			
音楽	演奏研究	2～6									2												0+2	0+2+4			
	ソルフェージュ	4～12									2												0+2				
総合的な探究の時間		3～6	1		1				1					1									3	3	3	3	総合的な探究の時間
各学科に共通する各教科・科目単位数計		29	2	26	3～5	22		5～9	28	3	77～83	10～16	28	3	22		9						79	14	14	主として専門学科において開設される教科・科目の履修単位数0～6単位	
単位数計		31			31				31		93		31				31						93				
ホームルーム活動週当たり回数		1			1				1		3		1				1						3				
週当たり授業単位数		32			32				32		96		32				32						96				

始業時刻・終業時刻 始業時刻:8時40分 終業時刻:15時05分(ただし、火・木曜日は16時05分)

2 学校行事計画

月	学 校 行 事
4	始業式、入学式、対面式、離任式、課題考査、進路講演会（3年）、 新入生オリエンテーション（1年）、生徒総会、胸部X線、心電図、身体検査、生徒総会、 校外学習（1年）
5	各種健康診断、中間考査、PTA総会、生徒会選挙
6	文化祭、進路講演会（2年）、高大連携講座
7	期末考査、防災・避難訓練、球技大会、大学訪問施設見学（2年）、終業式、夏季休業、 夏季補習、クリーンアップ作戦（3年）、心肺蘇生法講習会、三者懇談、学校評議員会、 職業人による講話（1年）
8	夏季休業、夏季補習、就職ガイダンス、オープンハイスクール
9	始業式、体育大会、進路講演会（1・2年）、特色類型説明会
10	創立記念日、中間考査
11	防災・避難訓練、芸術鑑賞会、健康教育講演会、学部ガイダンス（2年）
12	期末考査、人権講演会、冬季休業
1	冬季休業、始業式、修学旅行（2年）、学校保健委員会
2	学年末考査（1・2年）、卒業証書授与式、特色入学者選抜学力検査
3	球技大会、クリーンアップ作戦（2年）、バリアフリー体験学習会、入学者選抜学力検査、 学校評議員会、防災・避難訓練、終業式

3 校 時 表

(予 鈴)	8 : 25
S H R	8 : 30 ~ 8 : 35
第 1 校 時	8 : 40 ~ 9 : 30
第 2 校 時	9 : 40 ~ 10 : 30
第 3 校 時	10 : 40 ~ 11 : 30
第 4 校 時	11 : 40 ~ 12 : 30
(昼休み)	12 : 30 ~ 13 : 15
第 5 校 時	13 : 15 ~ 14 : 05
第 6 校 時	14 : 15 ~ 15 : 05
S H R	15 : 10 ~ 15 : 15
清 掃	15 : 15 ~

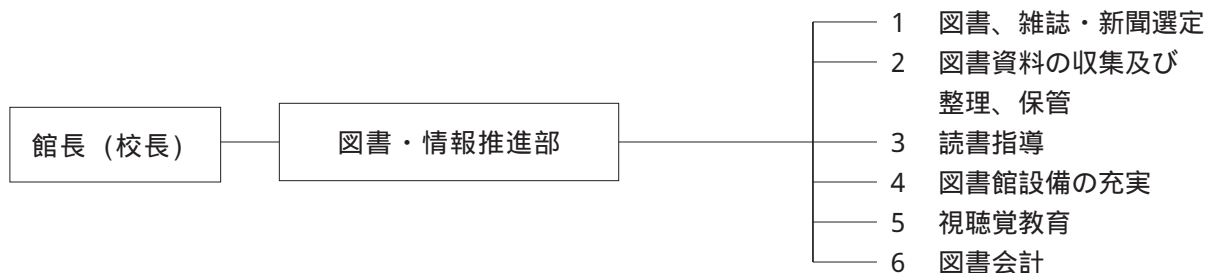
* 7校時授業 (火曜日・木曜日)	
第 5 校 時	13 : 15 ~ 14 : 05
第 6 校 時	14 : 15 ~ 15 : 05
第 7 校 時	15 : 15 ~ 16 : 05
S H R	16 : 10 ~ 16 : 15
清 掃	16 : 15 ~

4 図書館概要

(1) 施設

閲覧室 264.96㎡ 司書室 23.04㎡

(2) 運営機構



(3) 方針

- ア 生徒の読書経験の実態や図書利用の現状を把握し、図書に対する親近感を深めさせ、図書館を利用しやすいようにする。
- イ 図書館資料の収集については専門と一般分野のバランスを考慮し、特殊なものより普遍的で、高等学校教育の目標を達成させるものに重点をおく。
- ウ 視聴覚機器の視聴覚教材を充実させ、その利用により基礎的な学力の向上を図る。
- エ 生涯にわたって読書に親しむ習慣を養う。
- オ 教科、部活動、並びに日常生活のなかで、不明な点や疑問に思える問題の究明や解決に図書館資料を使って調査や解明する態度を養う。

(4) 活動の状況

- ア 図書館は開架式とし、閲覧者は自由に書籍の出し入れをすることができる。
- イ 開館は、昼休みと放課後、閉館は午後5時50分、長期休業期間中はその都度決定する。
- ウ 貸出し期間は1週間以内とする。
- エ 貸出しの冊数は原則として1人2冊までとする。
- オ 新規購入図書を紹介し、読書感想文コンクール、読書会等を催す。
- カ 視聴覚教材の整備、一層の充実を図る。

(5) 本年度の重点目標

- ア 教科と結びついた図書館活動を推進する。
- イ 読書指導および、図書委員会活動を深化させる。
- ウ 視聴覚教育の推進を一層充実させる。

(6) 冊数 計20,800冊

防 災

1 防火管理組織と任務

- (1) 防火管理者 事務長
(2) 防火担当責任者 総務部長

特別教室棟	理科主任
管 理 棟	事務主査
教室棟東	3年主任
教室棟西	2年主任
弓 道 場	弓道部顧問
プール機械室・更衣室	体育主任

体 育 館	体育主任
格 技 場	体育担当
図 書 室	図書館担当
生徒集会所(食堂)	総務部長
部 室(体育館側)	体育担当
部 室(運動場側)	体育担当

- (3) 建物等の検査班 (総務部長・総務副部長)
建物内外の防火区画の位置・構造・防火扉・排煙口等の管理、検査
- (4) 火気使用施設検査班 (事務職員)
火気使用箇所の管理、検査
- (5) 電気設備検査班 (事務職員)
電気配線・電気機器等の管理、検査
- (6) 消火設備点検整備班 (進路指導部担当教諭)
消火栓・消火器の点検整備
- (7) 警報設備点検班 (事務職員)
警報機の点検整備
- (8) 避難設備点検整備班 (各学年主任)
非常口・非常階段等の点検整備

2 防災年間計画

- (1) 4 月 警備・防災計画の作成
- (2) 7 月 防災避難訓練
- (3) 11 月 緊急地震速報訓練
- (4) 3 月 防災避難訓練 (通報・避難誘導・救護活動等)
- (5) 毎 月 1. 消火消防用諸施設 (屋内消火栓及び消火器等) の点検及び整備。
2. 火災予防週間は勿論のこと、火災の発生しやすい季節には、事前に消防署と連絡をとり、火災防止の検査をすることがある。
- (6) 通 年 1. 校務運営委員会等において、火災のほか地震等の緊急の場合に備えての防災組織づくりを再度検討する。
2. ホ - ムル - ム活動等で阪神・淡路大震災及び東日本大震災から得たことを教材として新たな防災教育をすすめる。

3 自衛消防組織表 消防団長...校長 消防副団長...教頭、総務部長

係 (班長)	任務	係職員	任務内容
通報連絡 (事務長)	通報連絡	事務職員	1. 消防署への通報。 119番
			2. 最寄りの駐在所及び警察署への通報。 274-0110 (網干警察署)
			3. 全校生への通報と連絡。
避難誘導 (3年学年主任)	誘導	各学年主任 HR担任 授業担当者	1. 校舎内の生徒を安全な場所へ無事に避難誘導させる。 2. 生徒を運動場に安全に集合させ、点呼報告をする。
	救助	学年保健部担当	火災現場で怪我をした生徒の救助に当たる。
消 火 (進路指導部長)	消 火	進路専任 授業外職員	消火器のある場所に急行し、その消火器を持って火災現場に行き、一時消火に努める。
	給 水	総務専任 授業外職員	消火栓のある場所に急行し、すぐ放水できる態勢をとる。
	工 作	教務専任	可燃性の物を除去したり、放水のじゃまになるものを壊したり、防火扉を閉めたりする。
警 備 (生徒指導部)	警 備	生徒指導専任 (学年生徒指導部)	1. 重要搬出物が盗難に遭わないようにする。 2. 学校外の人々が消火活動のじゃまにならないように注意する。
	監 視		危険な場所に生徒が立ち入ったり、不審な者が学校内に出入りするのをチェックする。
救 護 (保健部長)	救 護	養護教諭 保健部専任	負傷者の救護や看護に関することを行う。
搬出・点検 (化学担当教諭)	化学薬品	理科教諭・実習助手 事務室	危険と判断した薬品は、搬出し保管する。
	ガ ス	事務室	ガスの元栓をしめる。
	電 気		電源のメインスイッチを切る。

4 点検検査組織

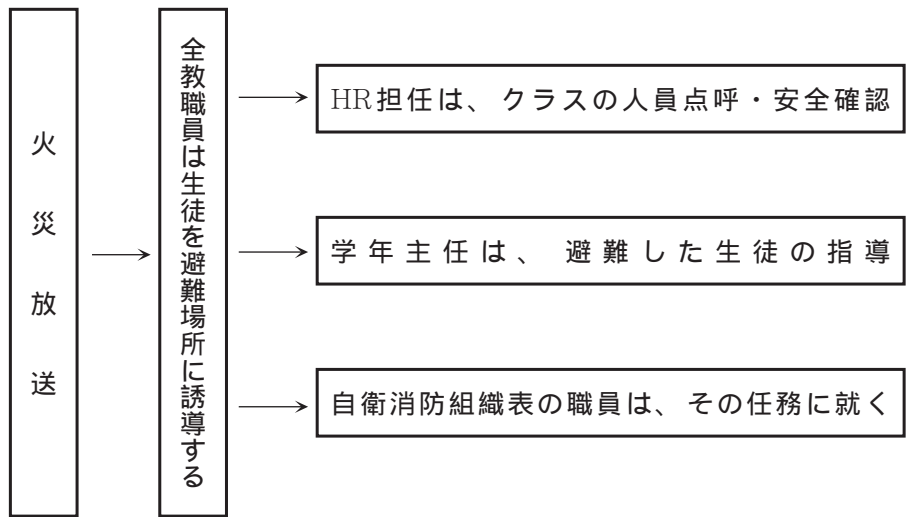
(1) 自主検査

区 分	年間回数	検査員
防火用水の設備	3	進路部・事務
整理清掃の状況	3	総務部
火気使用設備	6	生徒指導部長・事務室
電気設備及び漏電警報器	3	総務部・事務室

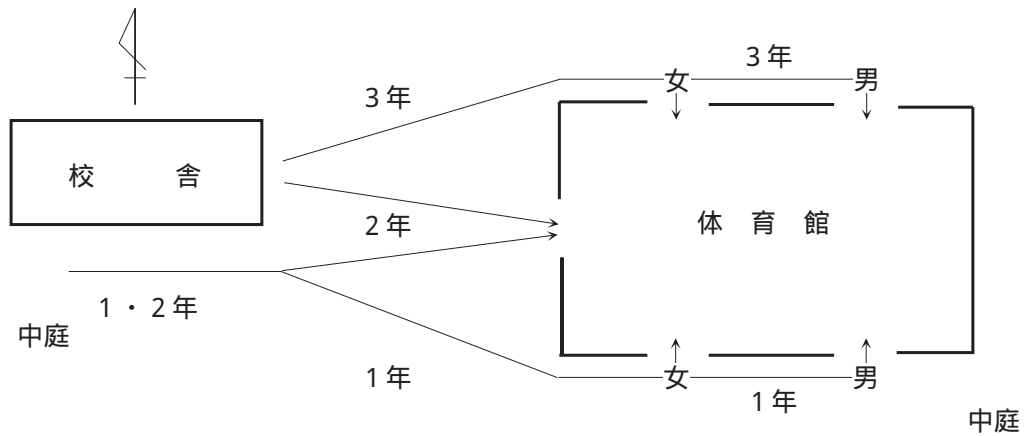
(2) 消防用設備等点検

区 分	年間回数	検 査 員
警 報 避 難 設 備	2	事務室
消火器・出入口・非常口の障害状況	2	総務専任・事務室

(3) 避難の手順（教職員）

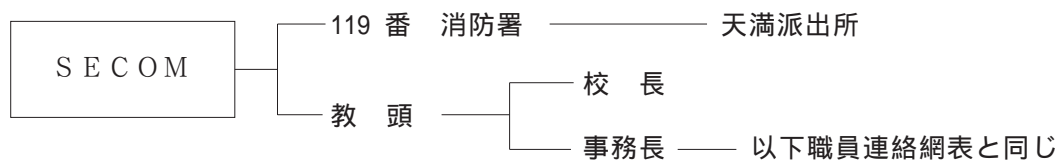


(4) 避難訓練当日が雨天で体育館に集合する場合の経路



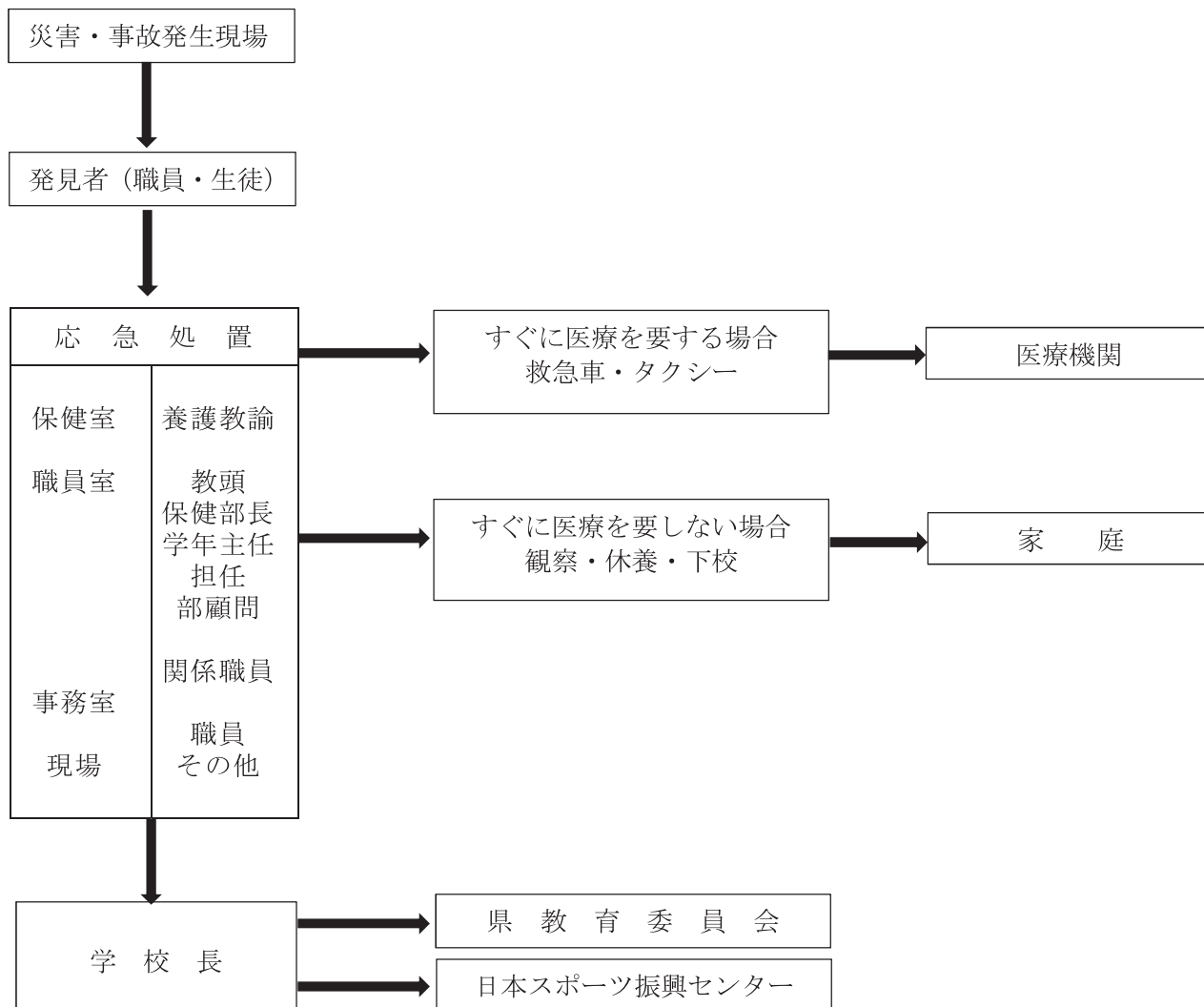
出火場所によって集合場所・経路は異なる。
 体育館に避難する時は、スリッパを手に持って、素足で入る。
 体育館内では、各組出席番号順に整列させ、出欠点呼を行う。

(5) 夜間緊急連絡網



5 学校内災害・事故発生時の救急医療体制

<授業日・休業日>



<移送・救急用具>

移送	A E D	担架	救急箱
・救急車 119 ・タクシー	・事務室前 ・体育館前	・保健室入口(東側) ・東廊下2F南側 ・西廊下2F北側 ・体育館入口 ・格技場 ・運動場体育倉庫	・職員室 ・事務室 ・体育教官室

頸椎固定用カラー・・・保健室、体育館入口(担架用箱の中) 熱中症応急キット・・・保健室 嘔吐物処理セット・・・保健室、職員室(養護教諭机の上) 組立式簡易ベッド・・・職員室(西側入り口) 「歯の保存液」・・・保健室、職員室救急箱、体育教官室救急箱 ポイズンリムーバー・・・保健室、職員室救急箱

生 徒

1 生徒在籍数 (令和5年5月1日現在)

生徒総数

男子	217人	計 590人
女子	373人	

第1学年 学年主任 塚田 副主任 矢野 副担任 西村

組	1	2	3	4	5	計
担任	矢野	加藤	畑 <small>祐</small>	岡田	押切	
男子	16	16	16	15	16	79
女子	24	24	24	24	23	119
計	40	40	40	39	39	198

第2学年 学年主任 荒内 副主任 井上_三 副担任 井上_真

組	1	2	3	4	5	計
担任	寺脇	渡会	大谷	名村	井上 _三	
男子	16	15	13	13	13	70
女子	20	21	29	30	30	130
計	36	36	42	43	43	200

第3学年 学年主任 鵜飼 副主任 辻野 副担任 栗林

組	1	2	3	4	5	計
担任	辻野	山田	井口	山口	山本	
男子	17	16	18	9	8	68
女子	20	21	22	30	31	124
計	37	37	40	39	39	192

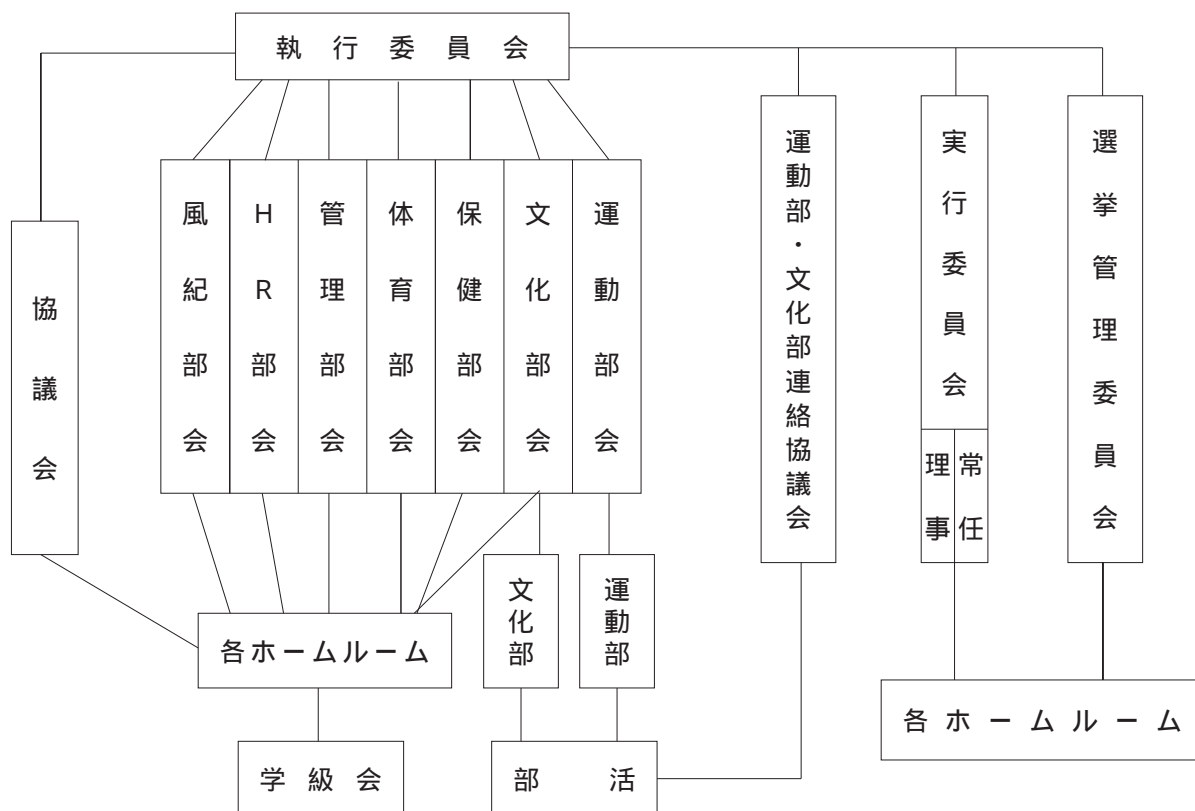
2 出身中学校

中学校名	学年 性別	1 年		2 年		3 年		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	計
1	増位	1	0	1	4	0	2	2	6	8
2	広嶺	0	2	1	6	4	3	5	11	16
3	城乾	1	0	1	1	0	1	2	2	4
4	安室	2	2	0	1	0	1	2	4	6
5	高丘	1	0	0	2	0	1	1	3	4
6	書寫	1	1	0	1	0	2	1	4	5
7	大白書	0	2	0	3	1	1	1	6	7
8	大東光	0	2	1	4	3	4	4	10	14
9	白鷺小	0	2	1	1	0	1	1	4	5
10	琴陵	1	1	1	2	1	0	3	3	6
11	山陽	8	6	4	8	5	3	17	17	34
12	灘	7	15	5	1	5	10	17	26	43
13	飾磨東	2	5	3	6	3	2	8	13	21
14	飾磨中	0	2	1	3	2	3	3	8	11
15	飾磨西	3	5	3	6	7	5	13	16	29
16	夢前	4	3	6	5	2	6	12	14	26
17	広畑	10	8	4	7	3	5	17	20	37
18	大津	3	7	0	10	2	5	5	22	27
19	網干	2	2	4	7	5	4	11	13	24
20	朝日南	4	12	8	9	4	13	16	34	50
21	神南	1	1	1	1	1	2	3	4	7
22	豊富小山	1	2	1	1	0	3	2	6	8
23	城山	0	1	4	0	0	0	4	1	5
24	花田	2	2	1	3	1	4	4	9	13
25	四郷学院	0	0	2	0	0	2	2	2	4
26	林田	1	0	0	1	0	1	1	2	3
27	東	4	3	1	5	8	7	13	15	28
28	大家的	4	1	2	1	1	1	7	3	10
29	大家島	0	2	2	1	0	1	2	4	6
30	坊勢	0	1	1	2	0	2	1	5	6
31	置塩	0	1	0	1	0	1	0	3	3
32	鹿谷	1	0	0	0	0	0	1	0	1
33	菅野	0	1	0	0	0	0	0	1	1
34	香寺	2	4	1	1	2	3	5	8	13
35	市川	0	0	0	1	0	1	0	2	2
36	鶴居	0	0	0	0	0	1	0	1	1
37	福崎西	0	0	0	3	0	0	0	3	3
38	福崎東	0	1	1	0	0	2	1	3	4
39	神河	0	1	0	0	0	0	0	1	1
40	那波	0	1	0	1	0	0	0	2	2
41	双葉	1	2	0	0	0	2	1	4	5
42	矢野川	1	0	1	0	0	0	2	0	2
43	龍野東	0	1	0	0	0	1	0	2	2
44	龍野西	0	0	0	1	0	1	0	2	2
45	新宮	1	0	0	0	0	0	1	0	1
46	揖保川	1	0	1	1	3	0	5	1	6
47	御津	0	0	2	2	1	3	3	5	8
48	赤穂	1	1	1	1	2	2	4	4	8
49	赤穂西	0	1	0	0	0	1	0	2	2
50	赤穂東	0	3	0	2	1	1	1	6	7
51	坂越	0	1	1	1	0	0	1	2	3
52	有年	0	1	0	1	0	0	0	2	2
53	山崎西	0	0	0	0	0	1	0	1	1
54	太太西	1	4	0	3	0	2	1	9	10
55	太太東	3	4	1	5	0	4	4	13	17
56	上郡	3	1	1	2	0	2	4	5	9
57	佐用	0	0	1	0	0	0	1	0	1
58	その他	1	1	0	2	1	1	2	4	6
	計	79	119	70	130	68	124	217	373	590
	合計	198		200		192		590		

3 通学方法

学 年	通学方法	1 年			2 年			3 年			合 計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
(1)	徒 歩	0	3	3	1	5	6	0	0	0	9
(2)	自 転 車 の み	42	57	99	42	70	112	36	56	92	303
	J R と 自 転 車	13	16	29	12	15	27	10	19	29	85
	船 と 自 転 車	0	2	2	2	3	5	0	2	2	9
(3)	山 電 の み	7	6	13	3	2	5	2	4	6	24
	自 転 車 と 山 電	6	13	19	2	5	7	5	8	13	39
	J R と 山 電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バ ス と 山 電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4)	バ ス の み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 転 車 と バ ス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	J R と バ ス	0	2	2	0	1	1	0	1	1	4
(5)	J R の み	11	20	31	7	27	34	15	33	48	113
(6)	そ の 他	0	0	0	1	2	3	0	1	1	4
	計	79	119	198	70	130	200	68	124	192	590

4 生徒会組織図



5 部活動在籍人数 (令和5年5月1日現在)

		1年	2年	3年	合計	
コーラス	男	0	1	1	2	10
	女	4	3	1	8	
吹奏楽	男	1	0	2	3	36
	女	5	12	16	33	
箏曲	男	0	0	1	1	15
	女	4	4	6	14	
茶華道	男	0	0	0	0	6
	女	2	1	3	6	
クッキング	男	0	0	0	0	33
	女	3	18	12	33	
演劇	男	2	1	2	5	7
	女	0	2	0	2	
放送	男	0	0	0	0	4
	女	2	1	1	4	
バトン	男	0	0	0	0	21
	女	5	13	3	21	
美術	男	0	1	0	1	13
	女	5	4	3	12	
書道	男	1	0	0	1	2
	女	1	0	0	1	
科学	男	1	3	1	5	5
	女	0	0	0	0	
小計	男	5	6	7	18	152
	女	31	58	45	134	
文化部合計		36	64	52	152	

		1年	2年	3年	合計	
弓道	男	0	2	3	5	34
	女	8	8	13	29	
剣道	男	0	0	1	1	1
	女	0	0	0	0	
空手道	男	0	2	5	7	16
	女	4	5	0	9	
サッカー	男	7	6	4	17	20
	女	1	2	0	3	
男子ソフトテニス	男	6	13	3	22	26
	女	0	1	3	4	
女子ソフトテニス	男	0	0	0	0	11
	女	3	5	3	11	
ソフトボール	男	0	0	0	0	15
	女	5	4	6	15	
男子バスケット	男	9	7	8	24	27
	女	1	1	1	3	
女子バスケット	男	0	0	0	0	18
	女	5	9	4	18	
男子バドミントン	男	20	11	15	46	46
	女	0	0	0	0	
女子バドミントン	男	0	0	0	0	36
	女	13	7	16	36	
バレーボール	男	0	0	0	0	32
	女	10	12	10	32	
野球	男	6	17	6	29	37
	女	3	3	2	8	
陸上競技	男	4	3	5	12	32
	女	8	7	5	20	
小計	男	52	61	50	163	351
	女	61	64	63	188	
運動部合計		113	125	113	351	

兼部を可能としているため、在籍人数は延べ人数

卒業生

1 卒業生数

卒業年	回	男	女	計
昭和27	1	105人	94人	199人
28	2	84	115	199
29	3	68	144	212
30	4	127	115	242
31	5	103	150	253
32	6	87	136	223
33	7	83	166	249
34	8	119	133	252
35	9	126	139	265
36	10	134	131	265
37	11	141	132	273
38	12	147	128	275
39	13	109	138	247
40	14	161	167	328
41	15	256	230	486
42	16	240	241	481
43	17	221	233	454
44	18	184	222	406
45	19	165	209	374
46	20	152	212	364
47	21	141	218	359
48	22	158	197	355
49	23	156	202	358
50	24	163	192	355
51	25	172	187	359
52	26	167	193	360
53	27	171	188	359
54	28	183	176	359
55	29	193	169	362
56	30	171	188	359
57	31	176	182	358
58	32	198	253	451
59	33	149	212	361
60	34	136	172	308
61	35	217	234	451
62	36	221	248	469
63	37	178	194	372

卒業年	回	男	女	計
平成元	38	219人	246人	465人
2	39	191	275	466
3	40	226	280	506
4	41	213	301	514
5	42	212	255	467
6	43	165	240	405
7	44	172	220	392
8	45	164	194	358
9	46	143	211	354
10	47	150	167	317
11	48	129	182	311
12	49	137	175	312
13	50	132	182	314
14	51	129	181	310
15	52	144	170	314
16	53	120	156	276
17	54	129	141	270
18	55	106	130	236
19	56	98	140	238
20	57	110	125	235
21	58	96	137	233
22	59	101	136	237
23	60	109	124	233
24	61	79	157	236
25	62	122	152	274
26	63	83	156	239
27	64	108	169	277
28	65	95	176	271
29	66	86	151	237
30	67	83	152	235
令和元	68	68	169	237
2	69	97	138	235
3	70	89	148	237
4	71	64	134	198
5	72	60	123	183
合計		10,191	12,833	23,024

2 令和4年度進路状況

(1) 令和5年3月卒業 72回生の状況

ア 卒業生の進路（実数）

項 目	計
進 学	173
就 職	6
そ の 他	4
合 計	183

項 目	計
国 立 大 学	10
公 立 大 学	17
大 学 校	0
私 立 大 学	128
国 公 立 短 大	0
私 立 短 大	2
専 修 ・ 各 種 学 校	16
就 職	6
そ の 他	4
合 計	183

イ 進学者 合格者延べ人数と実進学者数の内訳

大 学 ・ 学 校	計	
	合格者数	実進学者数
国 立 大 学	12	10
公 立 大 学	18	17
大 学 校	0	0
私 立 大 学	442	128
国 公 立 短 大	0	0
私 立 短 大	6	2
専 修 ・ 各 種 学 校	22	16
合 計	500	173

ウ 就職者 実数の内訳

職 種	計
公 務 員	5
民 間 企 業	1
合 計	6

エ 72回生の進路別合格者延べ数

国公立大学（延べ人数）

大学名	学部	計
京都工芸繊維大	工学部	1
兵庫教育大	学校教育	2
岡山山	工	1
鳥取大	工	1
香川大	農	1
徳島大	理工	1
愛媛大	工	1
高知大	農林海洋	1
山口大	工	1
宮崎大	経済	1
宮崎大	工	1
神戸市外大	外国語	1
神戸市外大	外国語2	1
兵庫県立大	工	1
	理	4
	社会情報	2
	環境人間	1
	看護	1
新見公立大	国際商経	1
	健康科学	1
公立鳥取環境大	経済	1
島根県立大	国際関係	1
尾道市立大	芸術文化	1
周南公立大	経済	1
北九州市立大	外国語	1
国公立大学合計		30

私立大学（延べ人数）

大学名	学部	計
金沢工業大	情報フロンティア	2
くらしき作陽大	音楽	1
ノートルダム清心大	人間生活	3
関西医療大	保健医療	2
	保健看護	1
関西外大	英語キャリア	3
	英語国際	8
	外国語	6
	国際共生	2
関西学院大	教育	3
	経済	1
	総合政策	3
	文理	8
関西国際大	文	1
	理	1
関西大	教育	1
	システム	1
	外国語	2
	経済	7
	社会安全	1
	人間健康	1
	総合情報	1
文	8	
関西福祉大	法	7
	看護	4
関西福祉大	看護	6
	社会福祉	1
京都外大	外国語	2

大学名	学部	計	
京都橋大	経営	1	
	経済	1	
	健康科学	2	
	工	3	
	国際英語	1	
	発達教育	1	
	文	2	
京都芸術大	芸術	1	
京都産業大	経営	4	
	経済	10	
京都美術工芸大	現代社会	8	
	芸術	2	
近畿大	経済	5	
	経済	15	
	国際	6	
	生物理工	3	
広島工大	情報	3	
広島国際大	保健医療	1	
甲南女子大	人間科学	2	
	国際	8	
甲南大	フロンティア	1	
	マネジメント	1	
	経済	3	
	経済	15	
	知能情報	3	
	文	13	
	法	4	
	理工	2	
	桜美林大	芸術文化	1
	四天王寺大	教育	1
滋慶医療科学大	医療科学	1	
就実大	薬	1	
神戸学院大	グローバル	3	
	経済	7	
	経済	21	
	人文	3	
神戸芸術工科大	法	5	
	薬	5	
神戸芸術工科大	芸術工	1	
神戸女学院大	人間科学	2	
神戸女子大	家政	13	
	看護	8	
	健康福祉	1	
	心	3	
神戸常磐大	文	7	
	保健科学	3	
神戸親和大	保健科学	3	
神戸薬科大	教育	1	
神戸親和大	教育	8	
神戸薬科大	文	1	
神戸薬科大	薬	1	
摂南大	理工	3	
専修大	経済	1	
川崎医療福祉大	医療技術	4	
	リハビリ	2	
創価大	経済	2	
	文	2	
創価大	文	1	

私立大学

大学名	学部	計
大阪経済法科大	経済学	1
大阪工業大	情報科学	1
	ロボティクス	1
	デザイン	5
大阪産業大	経済	1
	工	20
大阪体育大	体育	2
	教	1
	工	4
大阪電気通信大	情報通信	2
大手前大	経営	1
	建築 & 芸術	2
追手門学院大	経営	3
	経済	1
武庫川女子大	音楽	1
	教育	9
	経営	1
	食物栄養	3
	心理社会福祉	1
	生活環境	1
	文	12
福山大大	生命工	2
兵庫医科大	看護	3
兵庫大	看護	1
	健康科学	1
宝塚医療大	保健医療	1
立命館大	経済学	1
	産業社会	1
龍谷大	経営	1
	経済	8
	国際	6
	社会	3
	政策	2
	先端理工	4
	農	5
	文	6
法	2	
私立大学合計		440

海外の大学 (延べ人数)

大学名	学科	計
崇日大学(韓国)	経済通商	1
中央大学(韓国)	経営	1
海外の大学合計		2

短期大学 (延べ人数)

短期大学名	学科	計
関西外大短大部	英米語	2
大阪音大短大	管楽器	1
武庫川女大短大	幼児教育	1
神戸女子大短大	家政	1
兵庫大短大部	保育	1
短期大学合計		6

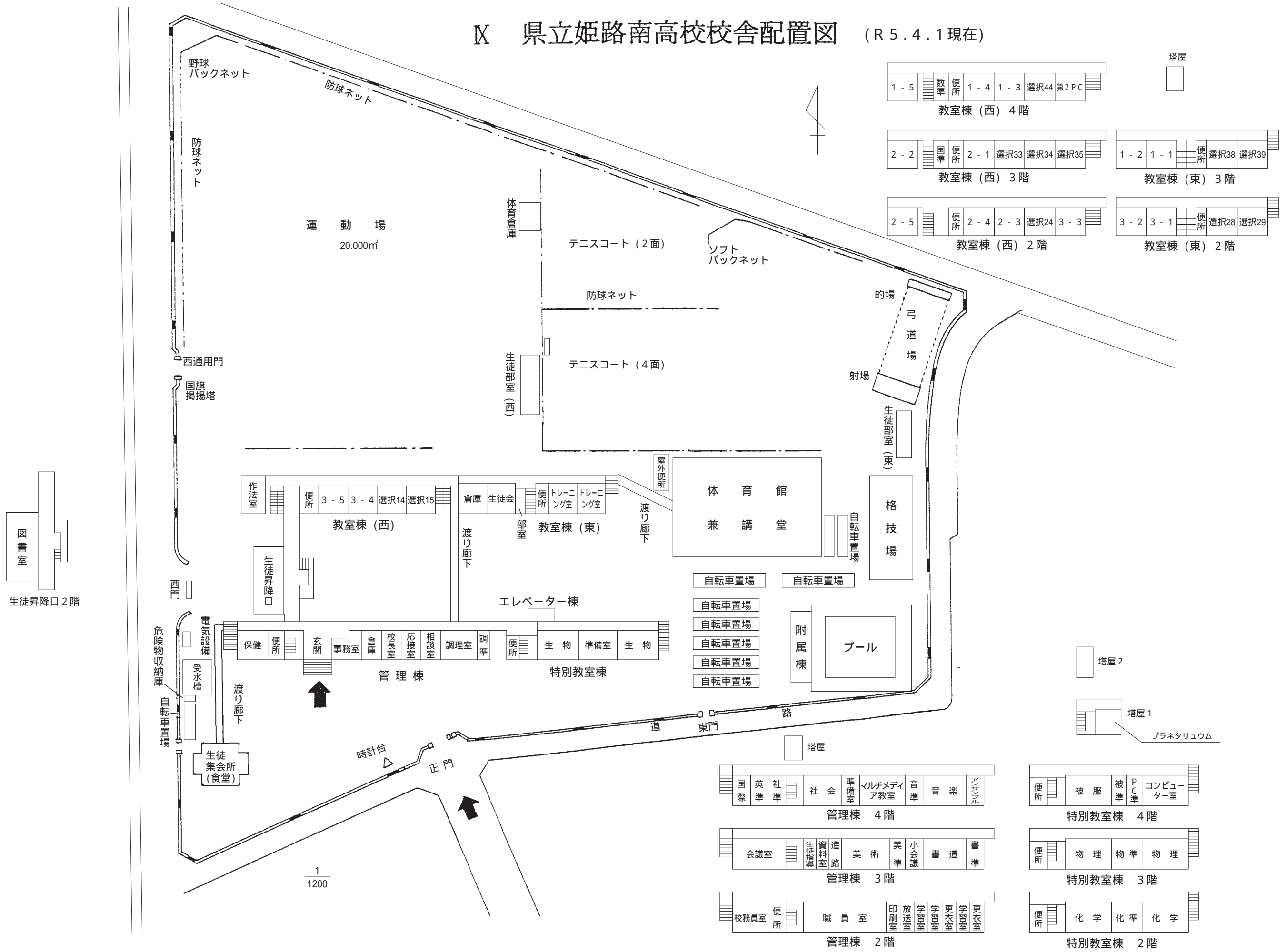
専門学校 (延べ人数)

学校名	計	
大阪芸術大学付属大阪美術	1	
大阪総合デザイン	1	
神戸国際調理	1	
神戸動植物	1	
神戸ベルエール美容	1	
新大阪歯科衛生士	1	
大阪ビューティーアート	1	
姫路医療	1	
明石医療センター附属	1	
姫路医療センター附属	3	
姫路赤十字看護	3	
姫路医師会看護	3	
相生市看護専	3	
兵庫県総合衛生学院	1	
専門学校合計		22

就職 (実人数)

会社名	職種	計
税務職員	一般事務	1
兵庫県職員	一般事務	1
	警察事務	1
姫路市消防局	消防士	2
自衛衛隊	曹候補生	1
(株)日本通運	営業事務	1
就職合計		7

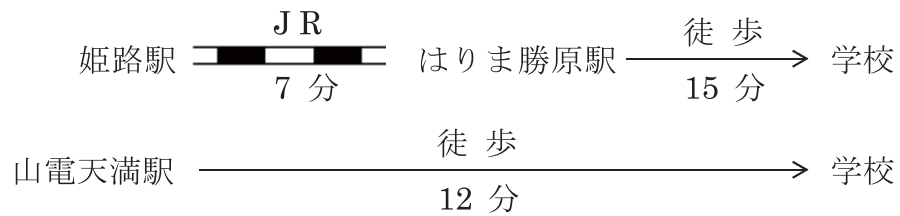
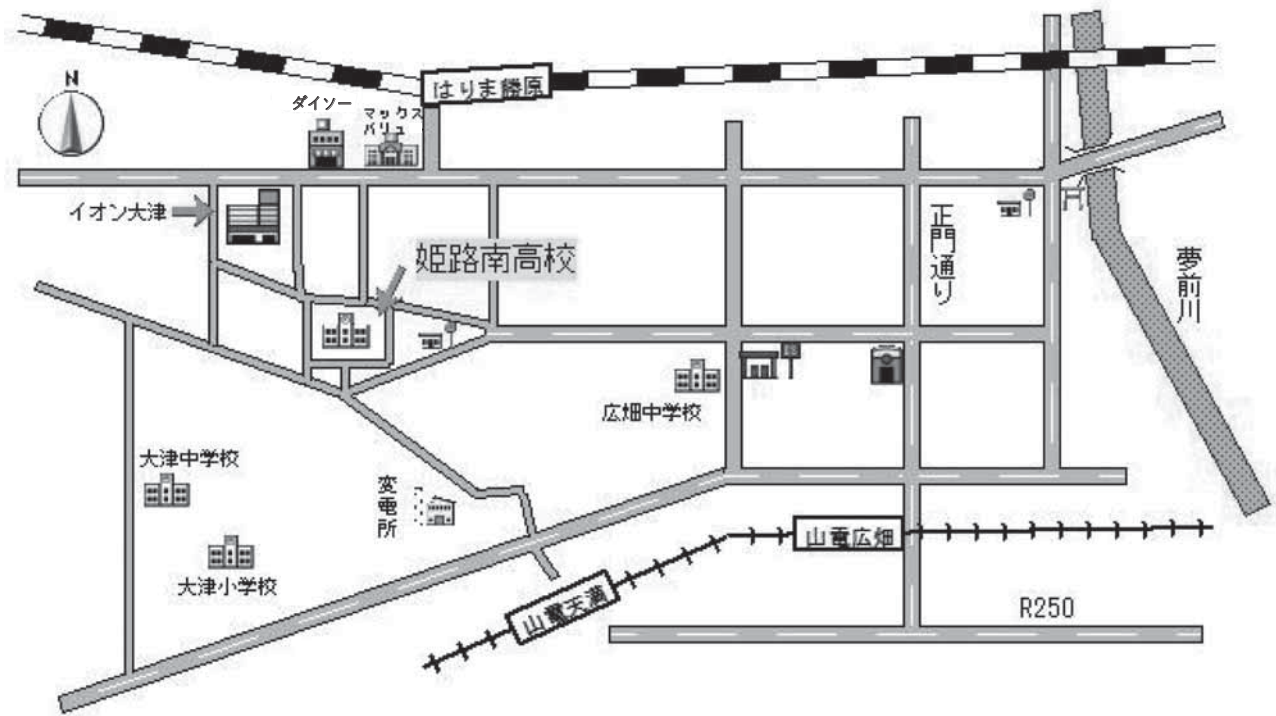
Ⅸ 県立姫路南高校校舎配置図 (R5.4.1現在)



1/1200

県立姫路南高校の位置・近隣図

東経 134° 36' 47.7" ・ 北緯 34° 47' 59.4" ・ 海拔 3.5m





兵庫県立姫路南高等学校

〒671-1143

兵庫県姫路市大津区天満191-5

TEL 079-236-1835

FAX 079-236-3186

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~himeminami-hs/>